



この広い世の中、私の話に共感してくださる方が必ずやいると信じて！私のお気に入りについてお話します。残念なことに、今のところ身近に共感者は現れていません。

ヒトでは汗腺（エクリン汗腺・アポクリン汗腺）が全身に分布しており、汗をかくことによって体温調整を行っていることは皆様方もよくご存じのこと。一方、イヌの場合、体温調整を行える汗腺（エクリン汗腺）は肉球と鼻にしか分布していません。イヌは主にパンティング（おくちハーハー）と口からの唾液の蒸発で体温調整をしているのです。ちなみにネコは肉球からの汗とグルーミング、ゾウはお耳パタパタで体温調整をしています。

体温調整を行っている汗腺はエクリン汗腺であり、アポクリン汗腺はいわゆる「くさい臭い」のもとであって体温調整とは関係がないのです。

さて、世の中にはイヌの足裏（肉球）のニオイが好き！というヒトが少しは存在しています。

実は私もそのうちの一人なのです。イヌの肉球のニオイは私にとっては「臭い」ではなく「香り」もしくは「薫り」なのです。私の調査結果によると、犬の体臭に個体差があるのと同様、肉球のニオイにも個体差があり、また、その時々体調、精神状態、生理状態等で変化しているようです。

例えば、活動中は肉球はしっかりとしめやかですが、睡眠中は乾燥していてニオイも変化します。これには、活動にともなった汗腺の分泌状況も関与していると思われます。そして、このニオイはエクリン汗腺の分泌物が空気に触れ変化したもの、体臭、地面の物質等いろんなものが混ざり合い一層複雑になっているのではないのでしょうか。



我が家には複数のイヌがいますが、私はその中の特定の子の肉球のニオイが好きです。特に、活動が低下（寝ているとき）しているときのニオイが大好きで、このニオイに癒されるのです。癒されたいときはひたすら「クンクン」させてもらっています。

このニオイをたとえて言うならば、「日向のにおい」「お日様のかおり」なのです。ただ、ヒトによって感じ方は異なり、私のように肉球のニオイが好きな人もいれば、嗅いだだけで卒倒しそうになるヒトもいるようです。初めて「嗅ぐ」方は、要注意の上、自己責任で行うようにしてください。

話はかわりますが、犬の耳のニオイ（耳の中のニオイ）が好き！という人もいます。私の知り合いは毎日、愛犬の耳のニオイをクンクン嗅いで幸せに浸りながら、健康チェックをしているそうです。確かに、耳のニオイは健康状態等で変化するので、我が家でも健康チェックに時折利用していますが、私は耳を嗅いでも幸せな気

分になれません。

そんな私ですから、松阪食肉センターの生体係留所で牛・豚の生体検査を行っていると、蹄のある動物の足の裏のニオイはどうか？と少しココロが揺らぐことがあります。が、今のところ、嗅ぐ勇氣はありません・・・。そして、人間の足の裏には全く興味も関心もありません！！

